

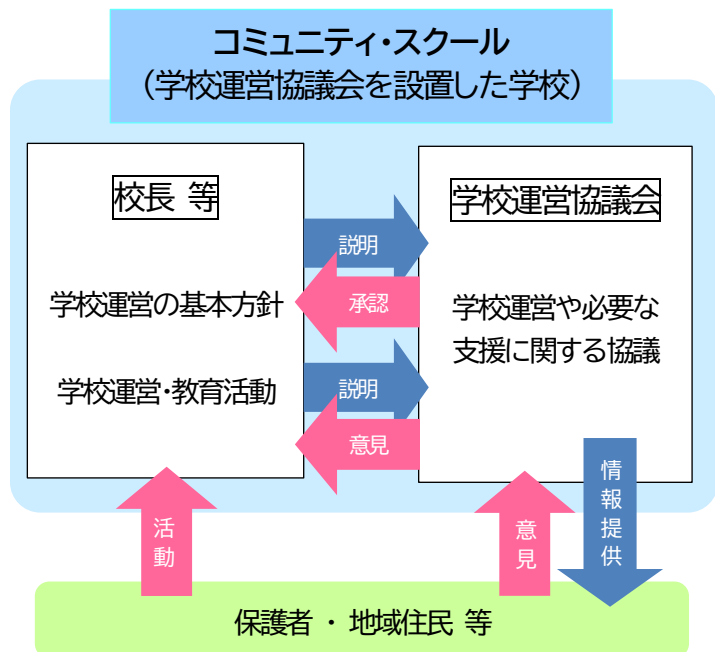


コミュニティ・スクールが始まります！

令和8年度から、ハツ田小学校でコミュニティ・スクールが始まります。

コミュニティ・スクールというのは、、「学校運営協議会」を設置している学校のことを言います。「学校運営協議会」には、保護者や地域の皆さんも参加します。学校・地域住民・保護者が教育目標を共有し、学校づくりにたずさわります。

ハツ田小学校ではこれまでも、、 登下校の見守り活動、米作りや野菜作り、防災学習、共育ボランティア等、多くの地域の方、保護者の方に支えられて教育活動を行ってきました。これまでは、学校とそれぞれのお立場・団体が個々に結び付き活動していましたが、コミュニティ・スクールの取り組みが始まると、それぞれの団体の代表者が学校運営協議会に集まるようになります。そうすることで、相互に情報交換・意見交換を行い、連携しやすくなります。皆さんの声を生かしながらハツ田小学区の特徴を生かした教育を進め、充実させることが、コミュニティ・スクールのねらいです。



コミュニティ・スクールの魅力って何？

- ・地域の皆さんが学校運営に参画するので、地域みんなで子どもを育てていくことができます。
- ・地域の皆さんがボランティアなどでお手伝いくださると、先生が教材研究や子どもと向き合う時間が生まれ、教育の質が向上します。
- ・先生が転勤しても、学校運営協議会があるので、学校と地域の連携・協働体制が続いていきます。

学校運営協議会って、だれが何をするの？

- ・校長など学校代表、区長など地域住民代表、PTA会長など保護者代表、あんしん見守り隊代表、おやじの会代表、地域コーディネーター（地域学校協働活動推進員）など 15名程度で組織します。
- ・学校運営やそれに必要な支援について話し合いをします。
- ・ハ小共育ボランティアの募集・連絡・調整の業務は、主に、地域コーディネーターが行います。



だれでも学校のボランティアに参加し、協力できるの？

- ・もちろんできます！
- ・適宜、「ハツ田小学校 共育ボランティア」の募集をします。持続可能な活動を行うためには、学校も地域も、無理をしてはいけません。「できる人が、できるときに、できることを行う」関係が大切です。地域の皆さん、保護者の皆さん、短時間でも結構ですので、ぜひ参加してください。

◆コミュニティ・スクールで期待される効果◆

子どもたちにとっては

- ・さまざまな経験ができる場が増え、学習に対する興味関心が高まります。
- ・周りの人への感謝の気持ちが芽生え、地域への愛着が深まります。

保護者にとっては

- ・保護者同士や地域の方との人間関係が構築されます。
- ・地域の中で子どもたちが育てられているという安心感があります。

地域の皆さんにとっては

- ・経験を生かすことで、子どもや地域の役に立っているという充実感につながります。
- ・学校を通して多くの人と交流することができます。
- ・学校と一緒に子どもたちを育てることで、地域の活性化につながります。

学校にとっては

- ・地域の皆さんの協力を得て、環境整備や教育活動が充実します。
- ・地域の皆さんの協力により、子どもと向き合う時間が確保されます。



◆ハツ田小学校運営協議会について◆

ハツ田小学校運営協議会の愛称を「ハツ田小みらい会」としました。「学校・家庭・地域のつながりから、子どもたちの未来を支えたい」という思いから、この名前を付けました。

子どもたちの未来は、このまちの未来です。地域の皆さんと一緒に子どもたちの教育を考え、それぞれのお立場で教育活動をサポートしていただけるようになるのが理想です。学校と地域住民の信頼関係を深め、ハツ田小学校がより子どもたちの豊かな成長を支える学校となっていけるよう、ご協力よろしくをお願いします。

◆共育ボランティアによる学校支援活動の例◆



(登下校の見守り)



(おやじの会主催のイベント)



(草取り・ペンキ塗り作業)



(学校行事「防災学習の日」補助)



(図書ボランティア)



(社会見学補助)

学校は、子どもたちが幸せに生きる力を育む場所です。そのために、学校が安心安全な場所であること、そして、子どもたちを自分で自分の安全を守っていける子に育てていくことが不可欠です。ハツ田小学校運営協議会「ハツ田小みらい会」では、毎年行っている防災学習の日（R8は5月29日）を中心に、活動を行っていきたいと考えています。